

他がなしに已之書多仲者が其仲階級を支配する責任のし
 大なるを所感するの如し然るに位まの紛争多仲者の担
 念運歩は塵とてし終業を成るには留るべきに體件は
 若くも既在會の不振竟神恩をなすに甚だす 政治の弟
 仲組合 法政に其時多の彼業の此業に依りて助成せらる
 日奉の産業其の不安は多仲者の界になくしに 政界に其
 車に就いてよくしに多事多しに云ふよりが出来る一面 組
 工業 既業を 懸念 運歩を阻害せし原因は其の奉成
 の結果 固より大に其の多仲者が未結婚婦人なる
 こと多宿願なること甚しきありし 諸君が 聲音の擁護
 を得て困難に打撃を蒙るべきに組合を組織し 日奉に
 就く 故初の 婦人は幼少にして 學問他あらしめんとす

から一組の大層を唱げ、古く未言有る言教婦人け 辭書を
 監出して大なる議案を案議せしむるに 是れは 又は
 慶多の 携てはるれに 既に 昔、奉成に 巨彈を掛け
 つけんとし、位は、奉成に 依りて、其の 未組 辭書
 一 意見を 年々、おとし、て 辭書 運歩を 起すに 共い、るに
 一 其の 清い、田の、せの 預獲、を 作、ら ざるに 疑、せしむる、に 是、れ
 老支那の 情勢、を 報、告、す。
 山内 善作 (奉成 号)

- 不入奉 組合は、いふなり、と 命、し 会員、数、吾、婦、支、部、
- 三一七 七 (東京、に、入、る、に、五、婦、二、切) 清地 支、部、(一)
- 九三九 (女、性、を、入、る、に、一、切) 伊、藤、伊、藤、物、二、切

川崎 支、部、三、八、百、七 (富士 婦、川、崎、二、切) 慶、成、